

令和6年度区・自治会デジタル化推進モデル事業

防災用高齢者専用端末(マゴスピーカー)と山手東自治会スマホアプリ「結ネット」との連携によるスマホ不所持者に対しての災害時の安否確認や日常の見守りへの活用事業

事業実施報告

2025年3月8日
山手東自治会会長

本日の報告内容

1. なぜこの事業を実施しようと考えたのか
2. 具体的にどのようなことをするのか
3. 事業を通してどのような効果が期待できるか
4. 事業実施結果
5. 費用支出内訳
6. 今後の展開
- (7. 参考資料)

1.なぜこの事業を実施しよう と考えたのか

①スマートフォンを
持っていない人はどう
しますか？

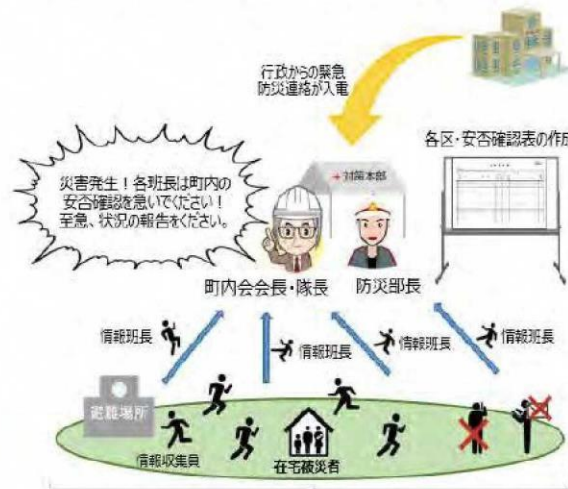
②2023年から山手東の
自治会活動にスマホア
プリ「結ネット」を導
入以来、このような声
が絶えません。

山手東自治会でのスマホアプリを利用した安否確認方法

2023年度から実施中

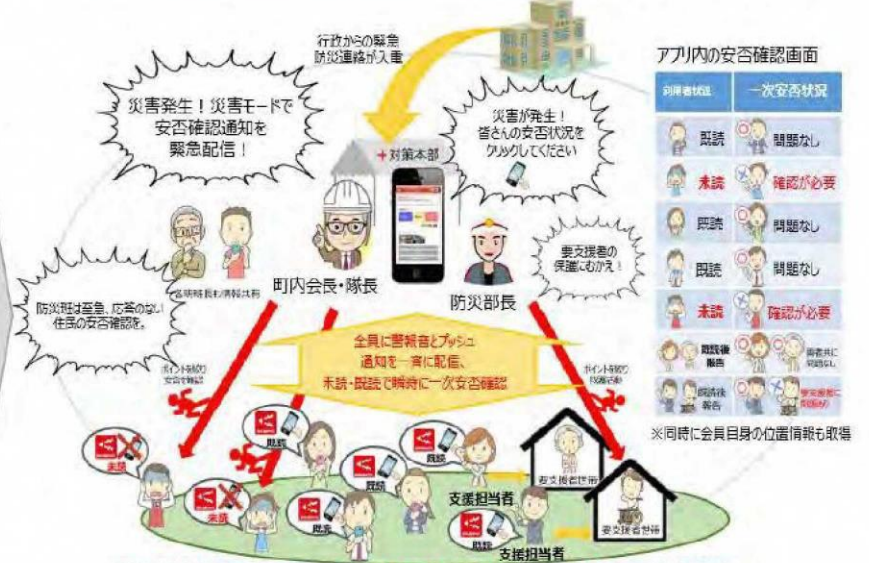
施

災害時には、電話は規制が入り、つながりにくい状況となる可能性大。



町内会内は人づてで、状況確認、情報伝達
⇒ 現実的に時間と労力が相当必要
⇒ 「誤認」や「噂」で錯綜、混乱の可能性大

確認できる。
災害時には、電話は規制が入り、つながりにくい状況となる可能性大。



※統計データによると東屋倒壊などの災害において、発生から72時間が経過すると生存確率が急激に低下するとされており、まさに時間との勝負になると言われています。

・カーによる安否発信状況

1.地震発生時の設置台数 9台 うち7台から安否発信

1の時系列>

- 4 災害モード切替発信
マゴスピーカーへ安否確認の発信依頼
 - 15 1台目の無事発信
 - :15 2台目の //
 - 3:16 災害モード切替修正発信
マゴスピーカーへ安否確認の発信再依頼
 - 8:17 3台目の無事発信
 - 18:17 4台目の //
 - 18:18 5台目の //
 - 19:22 6台目の //
 - 19:36 7台目の //
- 災害モード切替発信時にご不在だったため、
人感センサーが反応したタイミングで改めて音声案内が流れ、
無事を発信されたとみられる。



他の2名は、近所の方とご家族の方が結ネットにて、代理で無事を発信。



マゴSP返信【無事】

投稿日	2024/01/01 18:17	既読
投稿者		
記事内容	受信日時: 2024年1月1日 18:17	

1.なぜこの事業を実施しようと思ったのか

①昨年1月の能登半島地震の際、マゴスピーカーを使用している現地の自治会の事を知りました。

②当自治会でもこれらを「一人も取り残さない」という自主防災活動の新しい取り組みの資することが出来るのではないかと考えました。

2.具体的にどのようなことをするのか

2-3. 防災用高齢者専用端末の活用（マゴスピーカー）

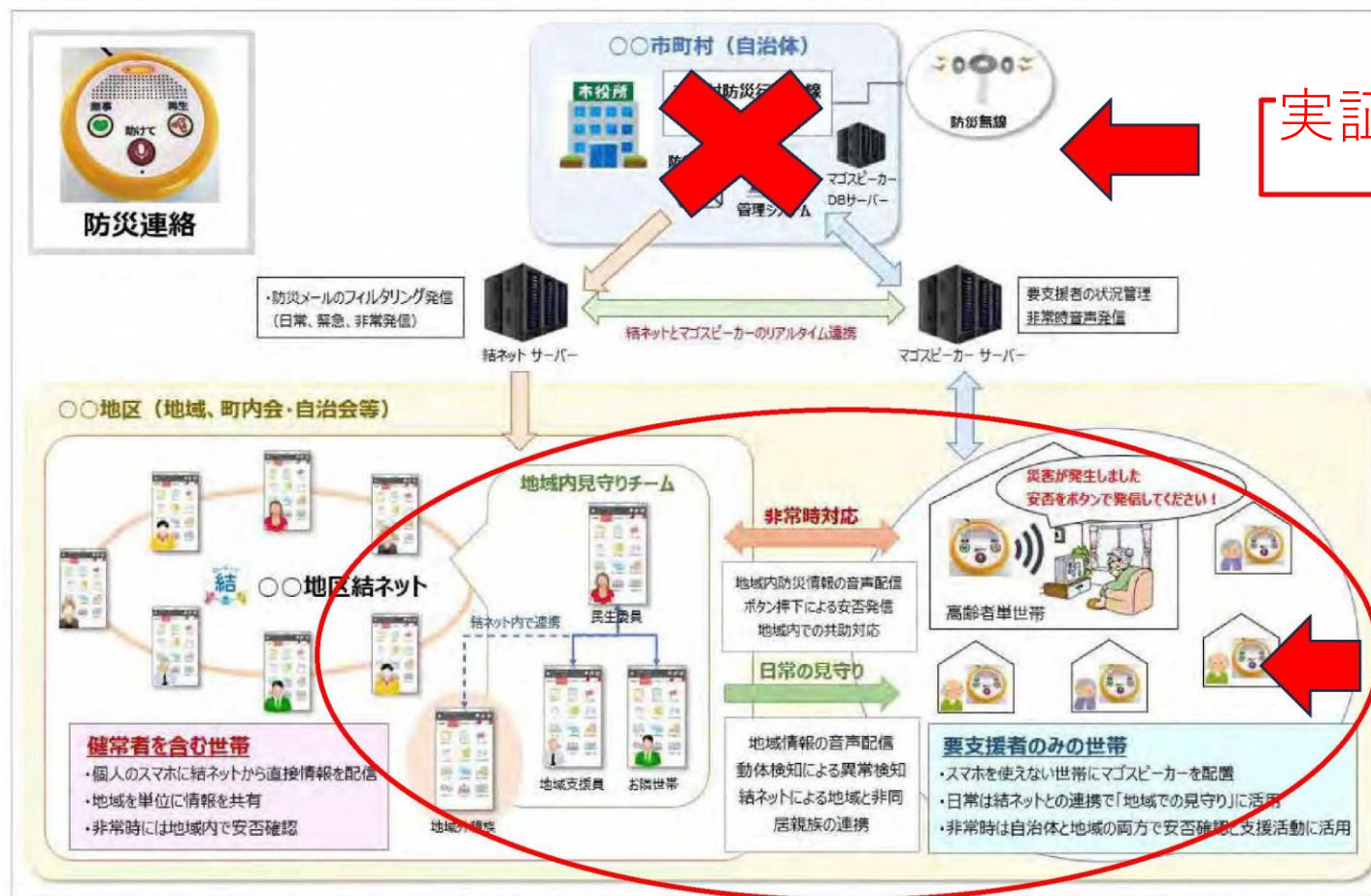
マゴスピーカー
モニター募集

見守りチーム結成

モニター勉強会

実証試験

アンケート



実証試験除外部分

実証試験部分

2.具体的にどのようなことをするのか

見守りチームの構築を行いました

- ・民生児童委員
- ・自治会会長
- ・家族、親戚、縁戚
- ・近隣住居者

山手東自治会 マゴスピーカー・モニター者名簿（2024/12月実証試験）

マゴスピーカー・モニター者						見守りチーム						
機器No	班	住所	モニター者名前	結ネット利用者番号	見守り用所属	班	見守り者住所	見守り者名前	結ネット利用者番号	名前①	名前②	名前③
1154	1		①		①チーム（1154）	3	****	民生委員①		会長	〇〇〇〇	●●●●
1170	3		②		②チーム（1170）	3	****	民生委員①		会長	〇〇〇〇	●●●●
1176	9		③		③チーム（1176）	13	****	民生委員①		会長	〇〇〇〇	●●●●
1179	9		④		④チーム（1179）	13	****	民生委員②		会長	〇〇〇〇	●●●●
1181	9		⑤		⑤チーム（1181）	13	****	民生委員②		会長	〇〇〇〇	●●●●
1183	9		⑥		⑥チーム（1183）	13	****	民生委員③		会長	〇〇〇〇	●●●●
1186	9		⑦		⑦チーム（1186）	13	****	民生委員③		会長	〇〇〇〇	●●●●
1187	11		⑧		⑧チーム（1187）	13	****	民生委員④		会長	〇〇〇〇	●●●●
1190	19		⑨		⑨チーム（1190）	19	****	民生委員④		会長	〇〇〇〇	●●●●

3.事業を通してどのような効果が期待できるか

・下記の「可能性」が確認出来る

- ①災害時安否確認での人海戦術の是正
- ②要支援の連絡がワンタッチ
- ③双方向音声対話による要支援の内容の確認ができる
- ④結ネットアプリが無い人からも支援要請が可能
- ⑤「無縁」が「無援」ならないように

4.事業実施結果(訓練実施結果)

- 自治会会員の総世帯数： 609
- 結ネット登録世帯数： 530
(総世帯数の87%)
- 訓練参加人数： 754人
- 無事回答者数タイムライン
 - 9:57 結ネット安否確認発令
 - 10:05、129人
 - 10:15、146人
 - 10:20、160人
 - 10:30、181人
 - 11:40、185人
 - 11:07、198人(訓練終了)

• 訓練総括

発災時、班長が個別確認に走り回らなければならないところ、かような短時間で安否情報が収集出来る事が証明出来、自治会による安否情報収集の労力を大幅に削減できると感じました。

- 訓練後「遠隔地に居住していて、スマホに疎い母に持たせたい」というお声も頂きました。
- 現状のマゴスピーカーは、大きい、人感センサとか不要な機能があり、即時採用には不安がある。

事業での使用機材： アプリとマゴスピーカー



マゴスピーカー

4.事業実施結果(マゴスピーカー取扱説明会)



説明会の様子



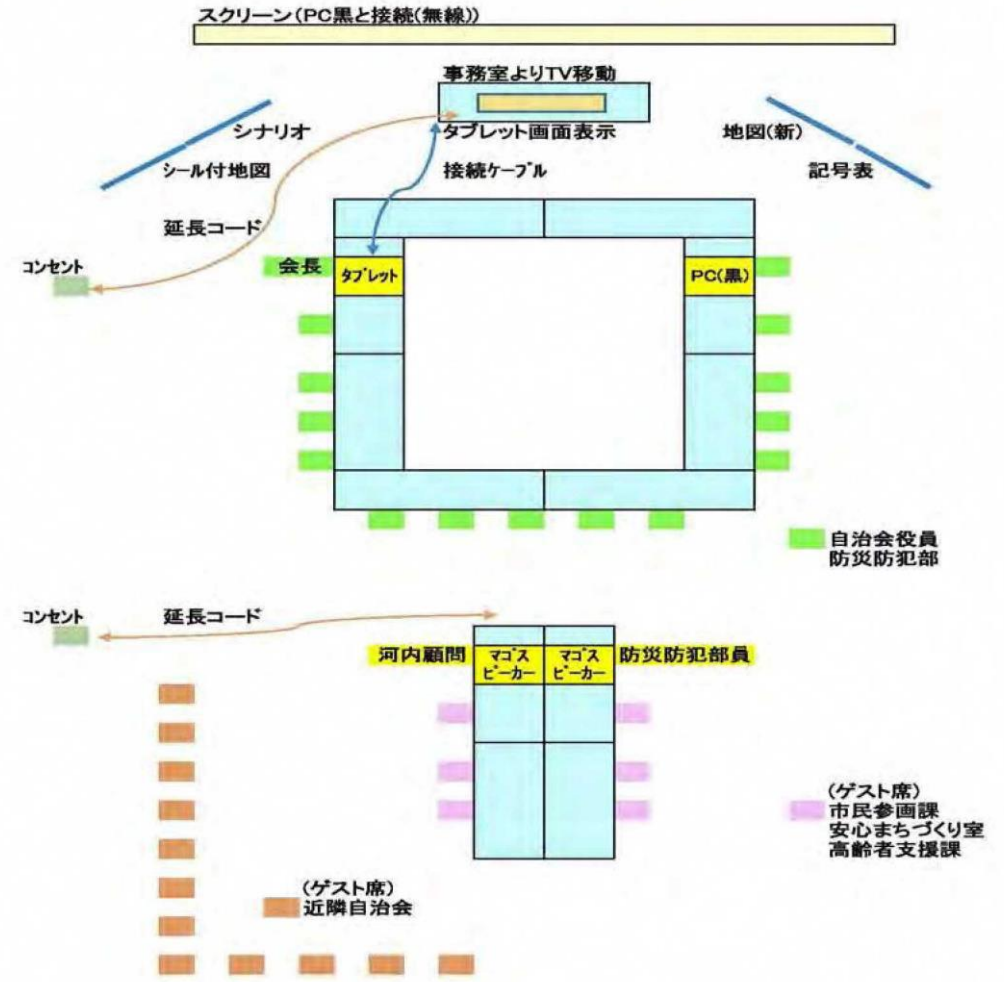
スマホ表示画面の説明

4.事業実施結果(訓練実施状況の様子)



自主防災本部の様子(安否確認訓練時)

2024年12月1日
安否確認訓練 1階集会室レイアウト



4.事業実施結果(訓練実施状況の様子)





4. 事業実施結果 (アンケート結果)

集計一覧			✕
安否確認訓練アンケートのお願い			記録出力
設問1	安否確認訓練はスムーズに出来ましたか？		
はい		100人 (82.0%)	
いいえ		22人 (18.0%)	
設問2	アプリによる安否確認は役立つと感じましたか？		
はい		110人 (90.2%)	
いいえ		12人 (9.8%)	
設問3	その他、ご意見があればお願い致します。		
はい		23人 (18.9%)	
いいえ		99人 (81.1%)	
			✕ キャンセル

4.事業実施結果 (マゴスピーカーのアンケート内容)

- 災害発生時の連絡一斉通報として利用
大きな音量で効果があると思いました。避難指示等の誘導についてのアナウンスがあれば、一步早く行動が出来ると思います。
- 一部の人の利用で、親子で繋がる、近所と繋がる相手を自分で見つけて利用するのなら、今持ってるアイフォンで緊急通報システム利用で十分かと。マゴスピーカーは費用対効果を考えると今は不要かと。
- 「助けてボタン」を押したら誰が助けに来てくれるのか、町内会レベルで救援組織づくりが必要であると痛感しました。
- 一番頼りになるのはご近所さんで、了承が得られれば両隣のお宅に繋がるようにお願いしたい。
- いざという時の対応として下記の内容も考えていただきたい。
 - ・ 自宅内での転倒事故や体調不良時のお助け依頼
 - ・ 闇バイト強盗、不審者等の侵入や訪問販売・買取業者の居座り
 - ・ 徘徊や迷い子の緊急搜索依頼
- 電池の消耗時、音声で数分ごとに告知されるが、その頻度が多すぎる。うるさい
- 結ネットによる安否確認の数分後にマゴスピーカーへの安否確認連絡が入った。緊急を要する災害時での数分の情報遅れに若干不安を感じた。
- マゴスピーカーは、受け取る相手が不在ではメッセージも一方通行になるのではないか

5.費用支出内訳

(単位：円)(税込)

①導入説明会費用 1回×1日(講師旅費含む)

初期設定・システムサポート

②システム設定費

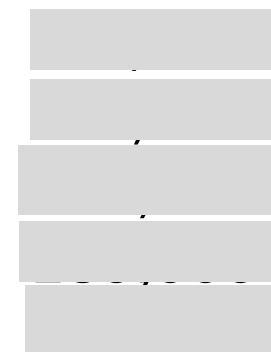
費用一式

③機材レンタル費 マゴスピーカー 10台X4ヶ月

④雑費 機器輸送費・資料コピー代等

合計

市交付金 特別自治振興費
区・自治会負担額



6. 今後の展開

- ①「**公民館の利用予約受付**」に、状況表示を掲示し、**予約希望者が利用可否を直ぐに判別出来るように**して、公民館担当者の業務負担を軽減する。
- ②基本的に、**紙回覧版**を、**電子回覧板**と**両方の掲示**を、班長や掲示者に義務づけ、ゆくゆくは、**電子回覧板のみ**をアプリ利用者に慣れさせて行きたい。
- ③**マゴスピーカー(1台)**を確保し、デモ等で、利用者のリクルートを図る(自治会内の**避難行動要支援登録者：41名**)
- ④**定期的なスマホ講習会**を実施し、アプリ利用のメリットの周知を図っていきたいと思っております。



7.ご参考 までに・・・

- ・ 昨年 10月、自治会員のご自宅にアライグマが出没。
- ・ 会員への注意喚起にアプリが活躍しました



7.ご参考までに・・

- ・既読スルー / 既読無視が、時間と共に多くなる
- ・定期的な啓発とアプリの魅力向上策の考案が必須

山手東自治会アプリ（結ネット）使用状況

山手東自治会 2024年1月27日（土）13：00現在 記：内藤

アプリ登録数；730 世帯代表者登録数；508

◆総使用件数；142件



◆代表的な既読率の推移

発信日	メニュー	内 容	既読件数	既読率 %
1 4月12日	回覧版	総会案内	326	64.1
2 5月2日	回覧版	夏祭りキャラクター	303	59.6
3 5月27日	回覧版	一斉清掃の案内	321	63.1
4 6月24日	回覧版	救急救命講習会案内	225	44.2
5 8月27日	回覧版	社協御礼	177	34.8
6 10月1日	回覧版	公民館申込改訂案内	161	31.6
7 11月12日	防災情報	安否確認訓練	248	48.8
8 12月6日	回覧版	北陸新幹線計画・・	187	36.8
9 12月23日	回覧版	新役員公示	190	37.4
10 1月18日	回覧版	特殊詐欺発生注意	150	29.5
		平 均	228.8	44.99

ご参考：個人的な気付き

- (1)月平均約13件の発信がある（多いと見るか？）
- (2)既読率が低下傾向（理由は？）
- (3)アプリ着信音が煩わしいとの声がある（プッシュ方式の良いところでもあるが？）
- (4)メニュー使い分けや配信先選択のルール等を見直してはどうか？（上記(3)対応）
- (5)自治会アプリをホーム画面（トップ画面）に設定していただく事を案内等